

第20回 日本シーティング・シンポジウム プログラム

第1日目：11月23日（日）

●9:50～10：00 イベントホール

開会の辞 大会長：岩谷清一（TOWN訪問診療所、OT）

●10:00～10：40 イベントホール

大会長基調講演：「Challenge! 暮らしを彩るシーティング～未来へと紡ぐコラボレーション～」

講師：岩谷清一（TOWN訪問診療所、OT）

座長：森田智之（神奈川リハビリテーション病院、PT）

●11:00～12：30 イベントホール

特別講演：「形成外科在宅医の実践・チャレンジ・コラボレーション～褥瘡・フットケアへの取り組み～」

講師：木下幹雄（TOWN訪問診療所理事長、形成外科医師）

座長：岩谷清一（TOWN訪問診療所、OT）

●13：00～14：00 第3、4セミナー室

シーティング・コンサルタント取得者向けミーティング（交流会）

司会：佐藤千晃（株式会社LIFE CREATE Grow訪問看護ステーション）

●13：00～14：00 ギャラリーホール

臨床相談&研究相談コーナー

相談者：当協会局員

●14：00～15：30 イベントホール

シンポジウム1：

「アシスティブ・テクノロジーの現状と未来 ～作業療法士の卒前・卒後教育と姿勢・移乗・移動の支援～」

シンポジスト：大庭潤平（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 教授、日本作業療法士協会副会長、OT）

松本琢磨（神奈川県総合リハビリテーションセンター、OT、福祉用具専門作業療法士）

永吉恭子（Be active株式会社、OT）

前田 哲（甲州リハビリテーション病院、OT）

佐藤千晃（Grow訪問看護ステーション、OT）

座長：木之瀬隆（シーティング研究所、OT）

岩谷清一（TOWN訪問診療所、OT）

●14：00～15：00 第1セミナー室

セッション1：「調査・研究」

座長：白銀 暁（国立障害者リハビリテーションセンター研究所、PT）

A-1 演者：木村早李（藤田医科大学七栗記念病院）

「脳卒中患者を対象としたシーティングの目的と内容の調査」

A-2 演者：亀ヶ谷忠彦（群馬医療福祉大学）

「福祉用具貸与による電動車椅子の利用状況に関する質的研究」

A-3 演者：渋川佳彦（日本医療大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻）

「バックサポートの形状が車いす駆動中の体幹前傾運動と加速度に与える影響」

A-4 演者：高野 学（株式会社モルテン）

「ティルト・リクライニング時のダイナミック型座クッションの有効性に関する研究」

●15：40～16：20 ギャラリーホール

ポスター発表 & コーヒーブレイク

P-1 演者：佐藤祐樹（訪問看護ステーションあい）

「車いす自操におけるアームサポート用自助具の活用-移乗動作の改善を目的に-」

P-2 演者：高橋広紀（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター リハビリテーション部 理学療法科）

「右外果・左中足骨外側部の褥瘡改善・仙骨の褥瘡予防と車椅子座位の安定性向上による家族面会時の QOL 向上を図った一例」

P-3 演者：石橋和明（新上三川病院リハビリテーション科）

「標準型車椅子における前方滑りに対するシーティング」

P-4 演者：中山 雄太郎（横浜新都市脳神経外科病院リハビリテーションセンター）

「段階付けたシーティングと目標共有が自発性・活動性向上に繋がった一例」

P-5 演者：富中勇登（森山脳神経センター病院 リハビリテーション科）

「シーティング介入により食事での上肢操作が向上した症例」

P-6 演者：小野澤直人（富士見高原病院理学療法科）

「頭頸部のポジションに着目した車椅子シーティングの実施で車椅子乗車時間の延長ができた症例」

P-7 演者：高橋弘太（松戸リハビリテーション病院 リハビリテーション科）

「モジュラー型車椅子クッションの調整により自走が可能となり、活動性および認知機能の賦活につながった一症例」

P-8 演者：亀山怜央（社会医療法人同愛会 博愛病院 リハビリテーション部）

「シーティングの評価に KT バランスチャートを使用しチームで食事動作の改善に取り組んだ事例」

P-9 演者：内田 裕（SOMPO ケア ラヴィーレ狭山、筑波大学大学院人間総合科学学術院）

「認知症による暴力行為への対応としてのシーティング実践報告」

P-10 演者：二瓶真輝（新宇都宮リハビリテーション病院）

- 「家族の協力の下、抗重力訓練を行い覚醒の向上が図れた事例」
- P-11 演者：山野遥人（国立病院機構いわき病院リハビリテーション科）
「硬質ウレタンスポンジによるティルト機能の代替が姿勢・嚥下・体圧に与えた影響－パーキンソン病重症例への工夫－」
- P-12 演者：谷村亮介（金井病院リハビリテーション科）
「重度疲労を呈した慢性期脳卒中片麻痺患者へ車椅子駆動を中心とした運動療法により身体機能向上が得られた一症例」
- P-13 演者：今大登（竹川病院リハビリテーション科）
「アームサポートによる座位安定性～麻痺側の認知が低下していた一例～」
- P-14 演者：春山悠司（森山脳神経センター病院リハビリテーション科）
「脳卒中患者の車椅子離床時間の拡大と食事動作獲得に向けたシーティング」
- P-15 演者：新垣貴大（リハビリテーション天草病院）
「身体介入効果の可視化によって得られたシーティングの再考」
- P-16 演者：吉野智佳子（帝京平成大学健康医療スポーツ学部）
「医療機関におけるシーティングの取り組みやシーティング・チームに関する実態調査」
- P-17 演者：白銀 暁（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部）
「車椅子座位における骨盤姿勢計測用治具の押し当て力の評価」
- P-18 演者：森田智之（神奈川県総合リハビリテーションセンター神奈川リハビリテーション病院理学療法科）
「車椅子座面の剪断力及び温湿度の計測についてのスコーピングレビューの試み」
- P-19 演者：高橋 尚（川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科）
「リクライニング操作後の頸部及び体幹への介入が呼吸機能に及ぼす影響」
- P-20 演者：佐藤吉隆（鶴岡協立リハビリテーション病院 リハビリテーション科）
「栄養アセスメント導入による褥瘡リスク患者の早期介入～シーティングとNST の連携活動報告～」

●16：30～18：00 イベントホール

シンポジウム2：「坐骨部褥瘡の予防とケアのための車椅子シーティング」

シンポジスト：久徳茂雄（市立奈良病院、形成外科医師）

富樫 剛（東京車いすテニス協会会長）

篠原真咲（大阪公立大学 実践看護科学領域、WOCNs）

土中伸樹（養和病院、PT）

溝井昌子（市立奈良病院、OT）

座長：久徳茂雄（市立奈良病院、形成外科医師）

白銀 暁（国立障害者リハビリテーションセンター研究所、PT）

●16：30～17：30 第1セミナー室

企業セミナー1：「車いす選定に欠かせない座幅以外の3要素～座面高・座奥行き・背角度～」

講師：株式会社フロンティア

第2日目：11月24日（月・祝）

●9：20～10：50 イベントホール

社会局セッション：「みらいを創る、活動報告」

担当：河野伸吾（定山溪病院、PT）

教育局セッション：「育つ力を次につなぐ -継続可能なシーティング支援に向けて」

担当：土居道康（南松山病院、OT）

学術局セッション：「日本シーティング・コンサルタント協会学術局の活動紹介（2025年度）」

担当：廣島拓也（苑田会 花はたりハビリテーション病院、PT）

●9：20～10：20 第3・4セミナー室

ハンズオンセミナー1：「接触圧測定器の測定体験 ～車椅子用座クッションの座り比べと適切な使い方～」

講師：森田智之（神奈川リハビリテーション病院、PT）

●9：20～10：20 第1セミナー室

セッション2：「症例」

座長：谷村亮介（金井病院、PT）

A-5 演者：下井佳展（大阪府済生会泉尾病院リハビリテーション部）

「著名な下肢可動域制限に対し、カットクッションを用いることで座位の安定性が得られた一症例」

A-6 演者：松井佳哉（小規模特別養護老人ホーム 大潟愛宕の園）

「認知症ケアマッピングを用いたシーティングチームアプローチ」

A-7 演者：中村優之（豊田地域医療センター リハビリテーションセンター）

「回復期リハビリテーション病棟入院中に車椅子レンタルを活用し 離床時間とADL向上に繋がった脳卒中患者の一症例」

A-8 演者：平松優香（神奈川県総合リハビリテーションセンター 理学療法科）

「電動車椅子乗車が有効であった多関節の瘢痕拘縮を伴った重度全身熱傷者の立位獲得に向けた介入」

●11：10～12：10 イベントホール

教育講演1（市民公開講座）：

「暮らしを彩る、持ち上げない移乗介護」 ～安全で安楽な移乗ケアと介助者の腰痛予防～

講師：保田淳子（一般社団法人日本ノーリフト協会 代表理事、Ns）

座長：土居道康（南松山病院、OT）

●11：10～12：10 第1セミナー室

企業セミナー2：「ダイナミック型クッションの可能性を考える～パワークッションのこれまでと今後～」

講師：株式会社モルテン

●12：10～13：10 ギャラリーホール

臨床相談&研究相談コーナー

相談者：当協会局員

●13：10～14：10 イベントホール

セッション3：「困難事例」

座長：前田 哲（甲州リハビリテーション病院、OT）、溝井昌子（市立奈良病院、OT）

A-9 演者：岡田英剛（南松山病院 リハビリテーション部）

「評価に基づく環境調整～座って食べるための段階的アプローチ～」

A-10 演者：福田勇人（TOWN 訪問診療所）

「在宅重度褥瘡患者に対する訪問リハの実践 ～座位保持・移乗支援による褥瘡再発予防と活動・参加の促進～」

●13：10～14：10 第3・4セミナー室

ハンズオンセミナー2：「操作で実感!電動車椅子の駆動性、姿勢変換機能の進化」

講師：大場 薫（障害者支援施設 宮城県船形の郷リハビリテーション支援部、OT）

●13：10～14：10 第1セミナー室

企業セミナー3：「車椅子の構造がもたらすリスクとその対策」

講師：株式会社松永製作所

●14：30～15：30 イベントホール

教育講演2：「日本の交通バリアフリーの現状と四つのバリアの国際比較」

講師：土橋喜人（金沢工業大学情報デザイン学部環境デザイン創成学科）

座長：阿部高家（リハビリテーション天草病院、PT）

●14：30～15：30 第1セミナー室

企業セミナー4：「電動車椅子と手動型車椅子の技能訓練評価・プログラムの紹介」

講師：サンライズメディカルジャパン株式会社